

第27回一紅会主催 春の講演会

神と仏と日本人

—宗教から読む歴史の深層—

お墓参りとか初詣とか、何の意味があるのだろうか？

神社とお寺の両方にお参りしていいのだろうか？

日本人は仏教徒、それとも無宗教？

講師は、この問題は案外日本人のモノの見方の根底に結びついていると言われます。

神と仏の関わり合いという観点から、日本の歴史と文化の深層を読み解いて頂きましょう。

講師 東京大学名誉教授 末本文美士 氏



●プロフィール

1968年 甲府第一高等学校卒業

1973年 東京大学文学部卒業、同大助教授、教授を経て

2009年 名誉教授

国際日本文化研究センター教授、総合研究大学院大学教授を兼任

2015年 名誉教授となり、現在に至る。

仏教学・日本思想史を専門とし、現代に生きる思想としての仏教のあり方を模索する。

著書 『日本仏教史』、『日本宗教史』、『仏教vs倫理』、『鎌倉仏教展開論』、『仏典を読む』、『他者・死者たちの近代』、『現代仏教論』など多数。

日時:2026年3月14日(土) 13:00~16:00 (12:30開場)

講演会 13:00~14:30 講演会終了後、引き続き懇親会を行います。

会場:アルカディア市ヶ谷 (私学会館) 3F富士の間

千代田区九段北4-2-25 TEL 03-3261-9921

東京メトロ 有楽町線・南北線 市ヶ谷駅(1またはA1出口)徒歩2分

都営地下鉄 新宿線 市ヶ谷駅(A1またはA4出口)徒歩2分

JR中央・総武線(各駅停車)市ヶ谷駅 徒歩2分

会費:5,000円(懇親会費を含む)

*飲み物、軽食を用意しております。

*お申込 2026年2月21日(土)締切

東京同窓会HP(<https://kf1-tk.jp/>)、

同封のはがき、

右記の「QRコード」にてお申し込み下さい。

